

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】令和5年12月15日(2023.12.15)

【公開番号】特開2023-100974(P2023-100974A)

【公開日】令和5年7月19日(2023.7.19)

【年通号数】公開公報(特許)2023-134

【出願番号】特願2023-79468(P2023-79468)

【国際特許分類】

C 0 7 D 2 9 5 / 1 5 5 ( 2 0 0 6 . 0 1 )

A 6 1 K 3 1 / 4 0 2 ( 2 0 0 6 . 0 1 )

A 6 1 P 3 / 0 2 ( 2 0 0 6 . 0 1 )

A 6 1 P 1 7 / 0 0 ( 2 0 0 6 . 0 1 )

C 0 7 C 2 5 5 / 5 4 ( 2 0 0 6 . 0 1 )

10

【F I】

C 0 7 D 2 9 5 / 1 5 5 C S P

A 6 1 K 3 1 / 4 0 2

A 6 1 P 3 / 0 2 1 0 2

A 6 1 P 1 7 / 0 0

C 0 7 C 2 5 5 / 5 4

20

【手続補正書】

【提出日】令和5年12月6日(2023.12.6)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

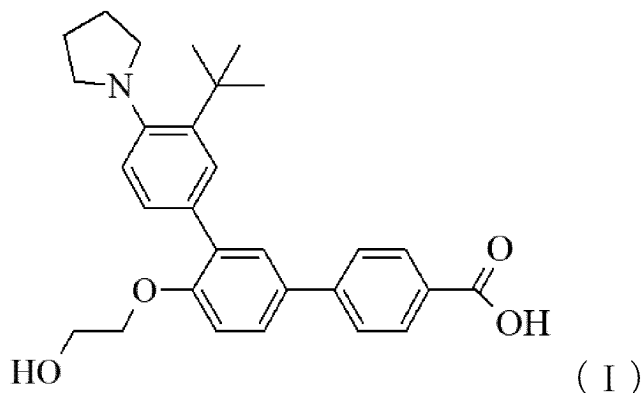
【特許請求の範囲】

【請求項1】

30

式(I)の化合物〔トリファロテン〕の形態E多形体であって、

【化1】



40

前記形態E多形体は、8.6度、12.8度、14.2度、17.9度、および24.0度の反射角2θに特徴的なピークを有するX線粉末回折パターンを示す、形態E多形体。

【請求項2】

さらに、10.6度、15.3度、16.3度、19.3度、および22.0度のうち1つ以上にピークを示す、請求項1に記載の形態E多形体。

50

## 【請求項 3】

さらに、10.6度、15.3度、16.3度、19.3度、および22.0度のうち少なくとも2つにピークを示す、請求項1に記載の形態E多形体。

## 【請求項 4】

さらに、10.6度、15.3度、16.3度、19.3度、および22.0度にピークを示す、請求項1に記載の形態E多形体。

## 【請求項 5】

請求項1～4のいずれか一項に記載の形態E多形体を含む組成物。

## 【請求項 6】

a. 請求項1～4のいずれか一項に記載の形態E多形体、および  
b. メタノール  
を含む組成物。

10

## 【請求項 7】

a. 請求項1～4のいずれか一項に記載の形態E多形体、および  
b. 薬学的に許容される賦形剤  
を含む組成物。

## 【請求項 8】

前記組成物が、局所適用に適した形態である、請求項5～7のいずれか一項に記載の組成物。

## 【請求項 9】

前記組成物が、クリーム、ミルク、ポマード、粉末、含浸パッド、合成洗剤、溶液、ゲル、スプレー、ムース、懸濁液、スティック、シャンプー、洗浄基剤、又は軟膏である、請求項5～8のいずれか一項に記載の組成物。

20

## 【請求項 10】

前記組成物が、約0.001%w/w～約10%w/wの形態E多形体を含む、請求項5～9のいずれか一項に記載の組成物。

## 【請求項 11】

前記組成物が、約0.1%w/w～約3%w/wの形態E多形体を含む、請求項5～10のいずれか一項に記載の組成物。

## 【請求項 12】

対象者の皮膚障害を治療するための、請求項5～11のいずれか一項に記載の組成物。

30

## 【請求項 13】

前記皮膚障害が、レチノイン酸受容体（RAR）ガンマ媒介経路の調節に関連している、請求項12に記載の組成物。

## 【請求項 14】

前記皮膚障害が、尋常性ざ瘡である、請求項12または13に記載の組成物。

40

50